



Be a player

No.394

巻頭記事

第48期理事・監事・県出向理事・監事候補決定

4月例会開催／4月例会を終えて
 第7回大山お地蔵さまフェスティバルに向けて
 第47期ハンサム連載人間力を磨くvol.7“企業をNo.1に導く力”
 新入会員オリエンテーション開催
 「irotoridori」／卒会にあたり
 こんにちは赤ちゃん／新入会員／5月役員会報告

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 奥森秀夫 ◆編集責任者／担当 副会長 渡邊公平 ◆制作・編集 第47期広報委員会／委員長 下村英一

第48期理事・監事・県出向理事・監事候補決定

【理事】

野口 健太郎会員

野口電工 代表
 (平成21年9月入会)
 平成23年度 副委員長



明穂 真一 会員

境港海上無線(株)
 専務取締役
 (平成30年5月入会)



高見 秀幸会員

(株)さんれいフーズ 副参事
 (令和元年5月入会)
 令和3年度 副委員長



景山 貴司会員

(株)カミナリ 広告プランナー
 (令和元年10月入会)
 令和3年度 副委員長



高岩 雄一 会員

(有)いけまつ環境 代表取締役
 (令和元年10月入会)



【監事】

高塚 康治会員

(株)富士オートメーション 代表取締役社長
 (平成19年11月入会)
 平成26年度 副委員長
 平成28年度 委員長
 平成29年度 副会長
 平成30年度 専務理事
 令和元年度 監事
 令和2年度 会長
 令和3年度 直前会長



中村 友紀会員

(株)サンイントウエイ 代表取締役社長
 (平成20年2月入会)
 平成21年度 副委員長
 平成30年度 委員長
 令和元年度 副会長
 令和2年度 副会長
 令和3年度 監事



足立 駿会員

足立ふとん店米子店 店長
 (平成24年1月入会)
 平成25年度 副委員長
 平成27年度 委員長
 平成28年度 県出向理事
 平成30年度 委員長
 令和2年度 副会長
 令和3年度 副会長



【県出向理事候補】

石田 倫章会員

ウィルビー(株) 課長
 (平成25年5月入会)
 平成27年度 副委員長
 令和元年度 委員長



中西 悠介会員

(株)LABO 工事部次長
 (平成29年6月入会)
 平成30年度 副委員長
 令和2年度 委員長
 令和3年度 県出向理事



下村 英一 会員

山陰建設サービス(株) 営業部
 営業二課 課長
 (平成29年12月入会)
 令和元年度 副委員長
 令和3年度 委員長



【県出向監事候補】

木嶋 康之 会員

(株)D-I-P
 (平成23年7月入会)
 平成25年度 副委員長
 平成27年度 県出向理事
 平成29年度 委員長
 平成30年度 県出向理事
 令和2年度 専務理事兼会計担当理事
 令和3年度 副会長



4月例会開催 ～地域を盛り上げていく人材となるには～



令和4年4月15日、米子市観光センターにて4月例会が開催された。冒頭の奥森会長の挨拶では「通常例会と呼ばれるものは、47期では本日が最後となっている。今期も各委員会の皆さまが会員の成長、企業の発展を考えて様々な例会を作っていた。私自身も今期は本当に学び・刺激というものを得たことが多々あった。本日の例会も、新たなビジネスチャンスが生まれるであろうと思う。しっかりと学んでいきたい」と述べられた。



人材となるには」というテーマのもと、原田佳南子氏(瀬戸内ワークス㈱ 代表取締役)を講師としてZOOMでお招きして3部構成で行われた。

第1部講演では、実例紹介として「URASHIMA VILLAGEのプロジェクトについて」ご紹介頂いた。URASHIMA VILLAGEでは地域の魅力や歴史などに注目し、地元の企業の

それぞれの特性を活かして団結して取り組むことで魅力のある事業を創り上げている。事業を行う上での考え方や多種多様な企業と共に事業を行う上での必要な事などを話された。

第2部では、担当委員会である地域彩り委員会が発掘した、山陰を彩るプロジェクトとして特性を活かした事業展開をされている3社(株式会社まるにわ、株式会社GOOD GROW、合同会社sunsunto)が紹介された。そしてTSC特別プロジェクトとして会員の所属企業数社の力を合わせ「地域彩り井」を作るという試みを披露し、このメニューは例会前の食事として会員に振舞われた。



第3部では、原田氏と安藤委員長による代表対談が行われ、プロジェクトにおける多種多様な企業との関係性やコンセプト・アイデアにおける考え方などについて、原田氏にさらに詳しく伺った。

例会を通して、多種多様な企業が集まることで地域の魅力や特性・人材などに新たに気付くことにより、さらに地域・企業の魅力が広がり、地域を盛り上げる人材になることができるという新たなビジネスを考えるきっかけとなる例会であった。

(記事:河津)

続いて、新たに入会した宮本久士会員への新入会員バッジ授与が行われた。また、豊嶋会員に結婚祝い、田宮会員に第四子誕生の出産祝いが贈られた。

その後、第1号議案「次年度理事・監事・県出向役員候補指名推薦についての上程書の件」について、渡邊副会長が議長を務める中、臨時総会が開催された。そして、満場一致で第1号議案は可決承認され、臨時総会は閉会された。

次に、第40回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部部長に木嶋康之会員、ボランティア部部長に安達信彦会員、AS部部長に高田典宗会員が任命され、委嘱状と任命状の授与が行われた。



授与式の後、トライアスロン実行委員長の山口尚文会員より挨拶と、各部部长より大会に向けた抱負が語られた。

本例会は、『地域を盛り上げていく

4月例会を終えて



地域彩り委員会委員長 安藤 睦夫
(山陰フェンス工業有限会社 専務取締役)

本例会では、「地域を盛り上げていく人材となるには」をテーマに開催いたしました。近年全国各地では地域を盛り上げるさまざまなプロジェクトが生まれております。その中でも多種多様な企業がそれぞれの特性を活かし魅力ある事業を展開していくプロジェクトに着目し、深堀りしていくことで地域を盛り上げていく人材となるヒントに繋がればと思い開催いたしました。第一部では地元の多種多様な企業が混ざり合い、団結して取り組むことで魅力ある唯一無二の宿が生まれたURASHIMA VILLAGEについて、旗振りされた瀬戸内ワークス㈱代表取締役 原田佳南子氏にご講演いただき、実例をもとに考え方を学びました。第二部では地域彩り委員会で発掘した山陰で魅力ある多種多様な企業が混ざりあった3社の事業をご紹介していくことで、企業・団体・個人が混ざり合い魅力ある事業の可能性が広がることに気づき、自らが主体となり地域を盛り上げていくきっかけとしました。さらに全体を通し、地域を盛り上げる考え方を深める為に代表質問を行うことにより、プロジェクトを立ち上げるコンセプトや仕組みを深堀りができ、多くの会員に刺激となり新たな知見を得る機会になったと感じております。

第7回大山お地蔵さまフェスティバルに向けて



実行委員長 高塚 康治
(株式会社富士オートメーション 代表取締役社長)

第7回大山お地蔵さまフェスティバルも、5月15日の当日までいよいよ間近に迫って参りました。実行委員長の高塚です。どうぞよろしくお願い申し上げます。第7回は、集客・ステージ部、広報部、製作展示部、清掃・参道イベント部、そして集客・にぎわい部と5つの部に分かれ準備を進めて参りました。これまで継続してきましたお地蔵さまの清掃作業を柱に、ぬり絵・絵画展示と編笠の製作、にぎわい企画として、子どもたちのダンスステージ、おしごとミッション、スタンプラリーなど楽しい企画も準備しています。また清掃された方には、大山ちまきを振る舞い、大山寺参道で心休まる楽しい時間になるように、皆さまをお待ちしています。

風や雨やコロナや様々な逆境を経て第7回を迎えようとしています。今一度原点に立ち戻り、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努め、子どもたちにお地蔵さまと触れ合いを通して、感謝の心と地域を愛する心を育みます。そして将来地域を彩る子どもたちの笑顔であふれる事業といたしますので、皆さまよろしくお願い申し上げます。

人間力を磨くvol.7

“企業をNo.1に導く力”

有限会社 木村鮮魚店 代表取締役社長 木村 努氏

第2編集部/石井道治(リーダー)、
小原武史、梅原雅明、児玉誠博、岡田英憲

今回で7回目を迎えた、ハンサム連載企画「人間力を磨く」では、山陰から日本一を目指す企業 有限会社 木村鮮魚店代表取締役社長 木村 努氏にお話を伺いました。先々代より続く木村鮮魚店さんの歴史を伺う中で見えてきた木村氏の持つ「人間力」について取材する事が出来ました。

～紆余曲折を経て～

町の鮮魚店から始まり、先代へと受け継がれ平成4年から法人へ。入社前は「どちらかといえば魚が苦手な食べるのも触るのも抵抗があったんですよ」と意外なコメントに場が和みます。

高校卒業後、進学の為上京し、学校、アルバイト、遊びと寝る間



を惜しんで活動された青春時代を経て帰省し、家業へと専念します。現在の店舗を任されるも当初はかなり苦戦を強いられたといいます。

近隣店との価格競争や差別化を図る為、試行錯誤する

もなかなか結果に結びつきません。ある時ふと、「自分の得意な事って何だろう?」と考えます、がむしやりに考え抜いた末の疑問でした。過去の体験を元に「…お客様を喜ばせる事は得意だ!」と思い価格勝負ではなく、純粋に足を運んでくれたお客様に喜んでもらおうと、来店されたお客様への対応やニーズを徹底的に探り実践していく事で、徐々に変化が起こります。人が入る事で更に人を呼ぶ好循環が生まれました。

新鮮な魚を売るという事に加えお客様の満足度を上げるという事が付加価値となり、気付けば近隣店舗との価格競争からも脱します。オープンから3年後の事でした。

～地域No.1企業へ～

その後、岡田商店宗像店への出店を経て、トライアルの鳥取県進出を機に琴浦店に出店されますが、鮮度が良く、いい魚よりも低価格優先の商品展開に疑問を感じ、撤退を決められます。しかし、トライアル出店で経験を積まれたスタッフが既存店に戻ることにより、店舗数は減るものの顧客一人一人にしっかりとしたサービスが行き渡り、売上は伸び、店は更に活気づきます。

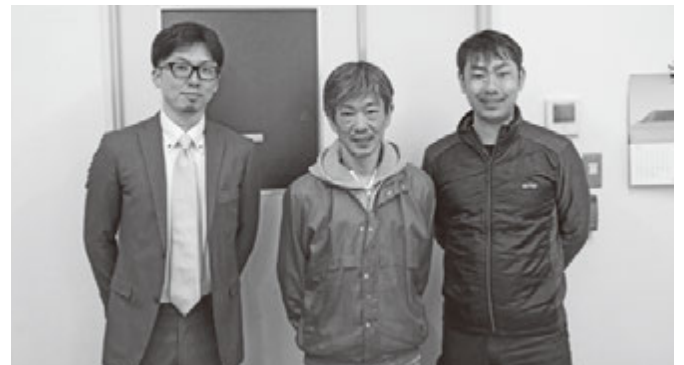
その後も企業として成長を続け現在約40名のスタッフがおられる中、およそ9割の方を正社員雇用されています。スタッフの方が少しでも働きやすい環境を作る事でお子様がおられ、正社員雇



用が難しいと考えられていた方にも安心して働ける職場を、また、服装や見た目に囚われず個々の個性を尊重することで、若者にも働きやすい職場を。生鮮の中で、特に人材が集まりにくいとされる業態ですが、今では求人募集していないのに逆オファーが来ることもあるそうです。

取材を進めるなかで「自分の事より従業員の生活水準が上がって嬉しい報告を聞けるのが何よりの喜びなんだよ」とおっしゃいました。その一言に「人を惹きつける魅力=人間力が詰まっているのだ」と感じました。今後、更なる発展を目指し、EC事業での販路拡大、さらには飲食事業についても計画されている様です。

取材の最後に成功の秘訣を伺ったところ「普通は『やるか、やらないか』なんだけど、自分は『やるか、超やるか』の二択しかなく、やらないっていう選択はない。やらなければ成功も何も無い。どうせやるなら超やろう!! 地域No.1、そして山陰から全国へ、木村鮮魚店さんの今後に目が離せません。



取材を終えて

昨今の中小企業において、社員の高齢化が会社の課題の一つとされる中、若手社員様が多く活躍されている木村鮮魚店の取材をさせていただき、お客様を想い、社員を想う、当たり前のことですが徹底する事の難しさ、また自社は?自分は?出来ているだろうか?という事を改めて考えてみる良い機会になりました。そして仕事への向き合い方も大変勉強になりました、私も「超やります!」

(第2編集部/児玉)

新入会員オリエンテーション開催



令和4年4月19日(火)米子市公会堂にて政治行政委員会が主催する新入会員オリエンテーションが開催されました。今回は8名の新入会員が参加となりました。

冒頭、奥森会長より「中央会活動を通じて様々な関係を築いていただけたらと思います。卒会者の皆さまにもお集まりいただいております。同じ時期に在籍をしたというご縁がありますので、今後も懇親の方をしていただけたらと思います」と述べられました。

続いて政治行政委員会の会員より、中央会について、関連団体について、OBとの関わりについて等の説明が行われました。1年前に私も新入会員として参加させていただきましたが、改めて勉強になりました。

た。

説明を受けたのち理解度テストがあり、参加者全員、真剣に取り組んでいました。

最後に高塚直前会長より「皆さまは会社の代表としてこの会に参加していると思います。皆さまの所作が個人として会社としても見られます。活動を通じて様々な関係が構築されていきますので、中央会活動を頑張ってもらえたらと思います」と締めくくられ、大変有意義な時間となりました。

(記事:川口)



irotoridori

第47期 副会長 小谷 泰樹

株式会社シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー

近頃、興味を持ち始めたのが「絵画」を見ることです。知識は中学校教科書レベルですが、もともと美術館に行くのは好きな方で、今は絵をより楽しく見るために西洋絵画史を勉強中です。絵や画家の背景を知ると、有名な絵も今までとは違うように見えてくるのは楽しいですし、歴史的な視点で絵画の変化や発展を知ること面白いです。

仕事で忙しい皆さんにも気分をリセットできる美術館巡りは是非おすすめしたい趣味です。私のおすすめ美術館は、近県ですと松江の「鳥根県立美術館」。ロケーションが素晴らしいです。開館時間が日の出～日の入り迄というのも洒落てます。広島「ひろしま美術館」にはゴッホ、マネ、モネなど我々が大好きな印象派の作家の絵がたくさんあります。地方の美術館にこれほどの作家の絵が揃っているのは凄いです。バブルって素晴らしい時代だったと思います。最後は鳴門にある「大塚国際美術館」。古代から現代まで世界中のありとあらゆる名画が鑑賞できます。といては実はここには本物の絵は一枚もありません。展示されているのは全て陶製のレプリカ絵画。しかし、忠実に再現された原寸大のレプリカはまるで本物のようです。世界中の美術館巡りが一度にできてしまう、まさに絵画のワンダーランドとっていい、何度も通える美術館です。他にも面白い美術館をご存知の方がいらっしゃいましたら是非教えてください。

～卒会にあたり～

参与 山口 尚文

山進運輸株式会社 代表取締役社長



山進運輸(株)山口です。いよいよ私も本年度で卒会を迎えることとなりました。約11年間の在籍期間でしたが、関係機関の皆様、OB会員の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。卒会を間近に控えた今の心境は、右も左も分からないまま入会し、息切れしながら走り続け、ゴールを目の前にスッキリとした気持ちで、その時を静かに待っているような感覚です。そして卒会者として後輩達に声をかける機会がありますが、入会当時に尊敬する先輩方より私にかけていただいた言葉と同じような内容を真剣に話している自分自身がおかしかったりもしますが、きっと最後の仕事なのだろうと考えています。

最後になりますが、皆様に引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆が時代の変化に合わせて西部青年中央会の舵を切り進み続けることを祈念して結びいたします。ありがとうございました。

こんにちは 赤ちゃん



総務委員会 田本 真大
山陰酸素工業株式会社
出雲支店 LPガス直売課 課長

3月5日に第二子となる長男が生まれました。予定日より1ヶ月早く産まれたので、2,100gと少し小さく産まれました。健やかに育ってほしいという願いを込めて、不老長寿という意味のある「桃」の字を使い「桃理(とうり)」と名付けました。「桃」には天下無敵という意味もあり、昔は疫病のことを「鬼」とも言われていたので、鬼を退治する桃太郎はそこから名付けられた説があります。名前のお陰というわけではないと思いますが、今では3,200gまで大きく育てられています。

守るべき大切な家族が増えましたので、自分自身も成長できるよう仕事も中央会活動も一層邁進していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

5月役員会報告

令和4年5月6日(金) 米子市公会堂 集会室6・7にて5月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 4月例会開催の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 第40回全日本トリアスロン皆生大会の件
- 第7回大山お地蔵さまフェスティバル開催の件
- 6月例会開催の件

※なお詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

5月に入り緑も美しくなってきました。今月は第7回大山お地蔵さまフェスティバルがあります。来場された皆様に大いに楽しんでいただくために、この1年全会員で準備してきた成果を悔いのないようにしっかり出し切りしましょう。

(広報委員会 小原武史)

新入会員

(地域彩り委員会)



みやもと ひさし B型
株式会社カーロード山陰 工場長
自動車卸売業・小売業
〒683-0854 鳥取県米子市彦町7168番地1
TEL:0859-25-1761 FAX:0859-25-6010

〈コメント〉この度、入会させていただき事になりました地域彩り委員会の宮本久士と申します。

歴史と伝統ある中央会の一員になれたことを大変嬉しく光栄に思っております。活動を通じて沢山の方と出会い交流出来ることを楽しみにしています。